

一般廃棄物処理施設整備に係る基本設計策定、P F I 等導入可能性調査
及び生活環境影響調査業務委託に関わる応募型プロポーザル審査結果報告書

令和 元年 5月

一般廃棄物処理施設整備に係る基本設計策定業務、P F I 等導入可能性調査業務及び
生活環境影響調査業務委託受託予定者選定委員会

目次

1	審査の進め方	1
(1)	審査方式	1
(2)	プロポーザル選定委員会	1
(3)	選定経過	1
(4)	審査の方法	2
2	審査の結果	3
(1)	第1次審査	3
(2)	第2次審査	3
3	総評	4

1 審査の進め方

(1) 審査方式

能代山本広域市町村圏組合では、新たな一般廃棄物処理施設（ごみ焼却施設及び不燃ごみ・粗大ごみ処理施設の併設施設）を整備するに当たり、基本設計の策定、PFI等導入可能性調査及び生活環境影響調査（以下「本業務」という。）を行うこととしました。業務の実施にあたっては、高度な技術力、専門性、独創性、企画力及び経験実績が必要とされることから、本業務を委託するのに最も適した者を特定するため、応募型プロポーザル方式を採用しました。

(2) プロポーザル選定委員会

本業務の受託予定者の選定に際しては、厳正かつ公平に行うため、選定委員会を設置しました。選定委員会は、提出された提案書について審査を行い、最優秀提案者の特定を行いました。

選定委員会の構成員は、以下のとおりです。

【プロポーザル選定委員会】

委員長	今井一晴	能代山本広域市町村圏組合事務局長
委員	佐藤和孝	能代市環境衛生課長
委員	村岡徳一	藤里町生活環境課長
委員	高橋泉	三種町町民生活課長
委員	佐々木高	八峰町総務課長

(3) 選定経過

本業務受託予定者の選定に係る経過は、以下のとおりです。

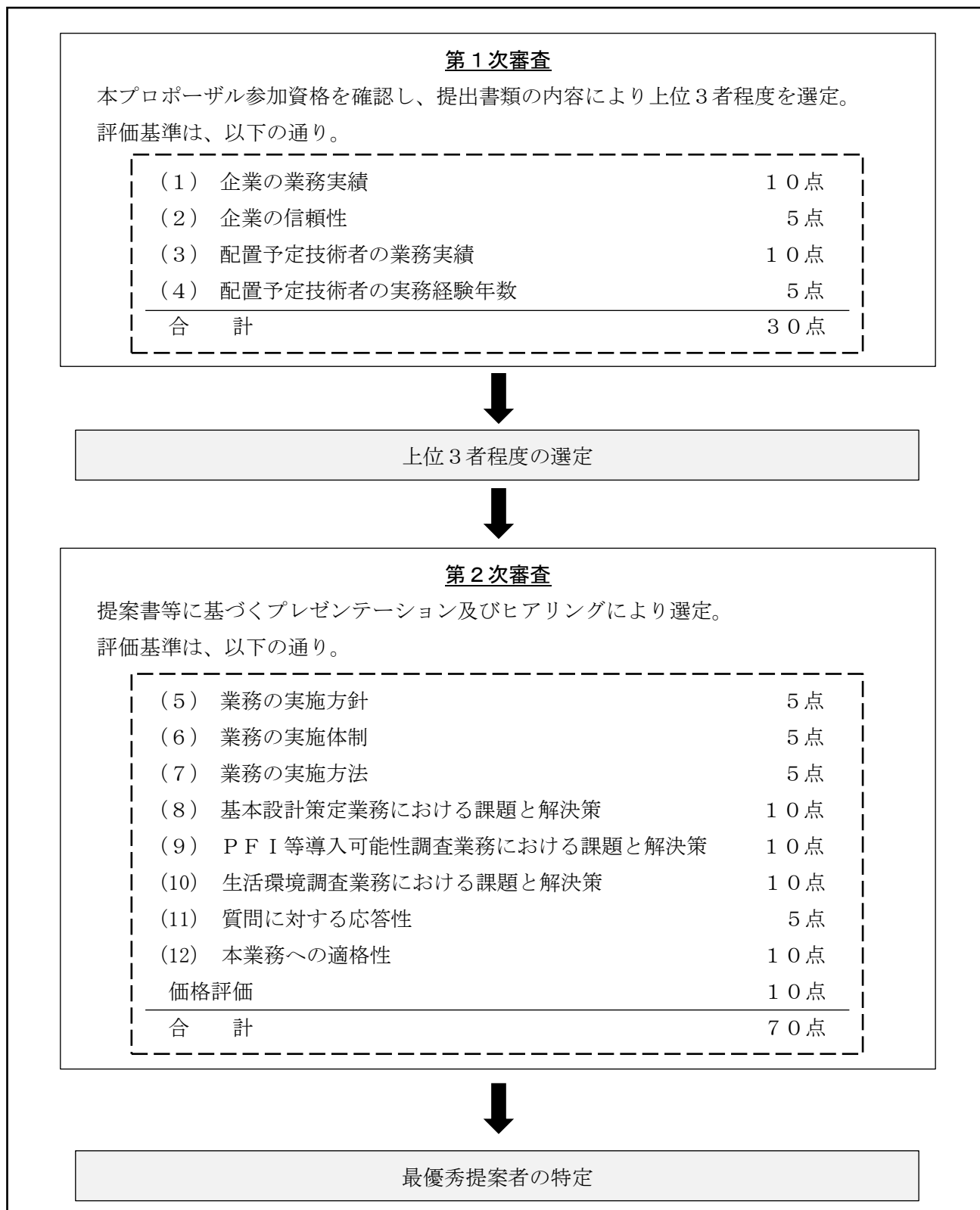
	内容	日程
1	第1回選定委員会	平成31年 4月11日（木）
2	プロポーザル実施の公告	平成31年 4月12日（金）
3	質問の受付期限	平成31年 4月18日（木）
4	参加表明書等の提出期限	平成31年 4月24日（水）
5	第1次審査の実施	平成31年 4月25日（木）
6	第2回選定委員会	平成31年 4月25日（木）
7	第1次審査結果通知	平成31年 4月26日（金）
8	提案書等の提出期限	令和元年 5月9日（木）
9	第2次審査の実施	令和元年 5月16日（木）
10	第3回選定委員会	令和元年 5月16日（木）
11	第2次審査の結果公表	令和元年 5月27日（月）

(4) 審査の方法

選定委員会による審査は、第1次審査と第2次審査に分けて実施しました。

なお、公告に基づく審査の流れは、以下の通りです。

【審査の流れ】



2 審査の結果

(1) 第1次審査

第1次審査については、2者から応募があり、全ての応募者が募集要項に示す参加資格を有していることを確認しました。また、各応募者から提出された書類の内容をもとに、募集要項に示すプロポーザル評価基準に沿って委員会が採点しました。

なお、応募者が2者であったため、全ての者を第2次審査対象者として選定しました。

(点)

評価項目		配点	応募事業者	
			八千代エンジニアリング株式会社北日本支店	A者
企業評価	業務実績	10	9.3	9.7
	信頼性	5	5.0	5.0
技術者評価	業務実績	10	5.7	5.7
	実務経験年数	5	5.0	5.0
合 計		30	25.0	25.4

(2) 第2次審査

第1次審査を通過した2者に対し、第2次審査を行いました。第2次審査では提案書等に基づく20分以内のプレゼンテーション及び15分程度のヒアリングを行い、募集要項に示すプロポーザル評価基準に沿って委員会で評価・採点し、点数を合算しました。採点の結果「八千代エンジニアリング株式会社北日本支店」を最優秀提案者として特定しました。なお、合計点については、小数点以下を四捨五入しました。

(点)

評価項目		配点	応募事業者	
			八千代エンジニアリング株式会社北日本支店	A者
第1次審査結果		30	25.0	25.4
技術提案	業務の実施方針	5	3.8	4.0
	業務の実施体制	5	3.8	3.8
	業務の実施方法	5	3.8	3.4
	基本設計策定業務における課題と解決策	10	7.6	7.2
	PFI等導入可能性調査業務における課題と解決策	10	8.0	6.8
	生活環境影響調査業務における課題と解決策	10	7.6	7.2
ヒアリング	質問に対する応答性	5	4.2	3.8
	本業務への適格性	10	8.4	8.0
価格評価		10	10.0	10.0
合 計		100	82	80

3 総評

平成31年4月12日付、能代山本広域市町村圏組合公告第1号で公告した「一般廃棄物処理施設整備に係る基本設計策定、PFI等導入可能性調査及び生活環境影響調査業務委託に関わる応募型プロポーザル」について、2者から参加表明書の提出を受けました。

審査にあたっては、選定委員会で定めたプロポーザル評価基準に基づき、第1次審査及び第2次審査において、厳正かつ公平に審査を行いました。

その結果2者の中から、「八千代エンジニアリング株式会社北日本支店」を最優秀提案者として特定しました。

「八千代エンジニアリング株式会社北日本支店」及びA者のいずれの参加者も、高い水準の熱意あふれる技術提案がなされておりました。

特に、最優秀提案者である「八千代エンジニアリング株式会社北日本支店」は、業務の実施体制において、電気、地質、道路、河川等の各分野担当による社内協力体制が構築されており、会社独自の共有メールを活用するなど、社内での情報共有が図られていたこと。業務の実施方法において、3業務間の進捗の整合性が図られており、打合せスケジュールや協議内容が明確でとても分かり易かったこと。さらに、基本設計における課題と解決策において、建設工事費の高騰に伴う入札不調不落問題や働き方改革により稼働時期が遅れることなど、今後起こり得る課題が明確で具体的な解決策の提案がなされていたことといった提案内容が高く評価されました。

一般廃棄物処理施設整備事業は、構成市町にとって20年から30年に一度の一大プロジェクトであり、本業務が果たす役割はとても大きいものです。

本審査は、一般廃棄物処理施設整備等計画業務に精通し、かつ効率的に業務の遂行ができ得るコンサルタントを選定することを目的としていることから、最優秀提案者である「八千代エンジニアリング株式会社北日本支店」には、今回挙げられた技術提案事項のみに対応するだけでなく、一般廃棄物処理行政全体を円滑に遂行する観点から、高度な技術力、専門性、独創性、企画力及び経験実績を活かし、本業務を遂行することを期待します。

最後に、本件プロポーザルに参加され、貴重な時間を費やして真摯に努力いただいた関係各社に心より感謝いたします。

選定委員会

委員長 今 井 一 晴